

【6】 高等部の生徒や卒業生の「生活を楽しむ」姿

「生活を楽しむ子」をめざして実践を重ね、最終年次を迎えているが、一人ひとりの生徒がどう育ちつつあるのか、「生活を楽しむ」姿が見られるようになってきているのか、と考え探ってみることにした。高等部の生徒や、昨年度及び一昨年度の卒業生に、学校または働く場での生活・家庭生活の様子について面接調査を行い、担任や保護者の観察も加えながらまとめた。そのなかで見られた「生活を楽しむ」姿の例を挙げてみたい。

<高等部の生徒の「生活を楽しむ」姿>

E男（1年）

- ・入学時には、自信がなく受け身的な態度が目立ったが、徐々に積極的な面が出てくるようになった。委員会活動で友だちを誘って活動したり、学級委員に立候補したりする姿が見られるようになった。
- ・家庭での役割を大切に扱った成果か、柿の栽培の手伝いを嫌がらずにできるようになり、その都度家族や教師に認められることが次の意欲へとつながるようになった。

B子（1年）

- ・選択学習で手工芸コースに入り、この学習をととても楽しみにしている。特に、ミシン縫いで新たな作業に取り組んだり、スウェーデン刺繍を家庭へも持ち帰って、熱心に仕上げてくるようになった。

F男（2年）

- ・問題行動が減ってきて、本人なりのリズムで落ち着いた生活が送れるようになった。音楽が好きで、リズム感もとてもよい。学校でも家庭でも、自由時間には、歌を聞いたり楽器を鳴らしたりして楽しんでいる。このことは、気持ちを発散させたり、落ち着いた気持ちになったりすることにつながっているようだ。

H男（2年）

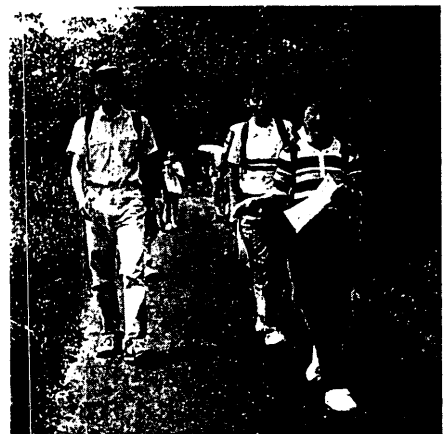
- ・本校に入学した頃は、学校になじめずおとなしかったが、物作りや調理など少しずつ自分の好きなことが見つかるようになり、積極性が出てきた。児童生徒会の書記を務めたり、放課後も残ってクラスの用事をしたりするようになった。
- ・家族も、懇話会の役員を引き受けたり、行事に積極的に参加するようになり、本人もそのことを嬉しく感じて、自分もさらに頑張ろうという気持ちを持つようである。

O男（3年）

- ・家庭の環境が整いにくく学校を休みがちだったが、運動コース（選択学習）やホームルーム活動等の学習を楽しみに、学校生活を力いっぱい送ろうとするようになった。

D子（3年）

- ・最上級生として、児童生徒会長・学部集会実行委員など活躍の場を与えられはりきって活動している。
- ・休日には、自分で買い物に行ったり、マラソン大会やウォークラリーに参加したりするようになった。



ウォークラリーを楽しむD子

<卒業生の「生活を楽しむ」姿>

T男（自宅で暮らし、事業所で働いている）

- ・本人は製品を運ぶ仕事が楽しい様子。上司に恵まれ、実習ノートの延長のように、毎日の様子を書いてもらっているので、何かあった時の対応が早くできる。
- ・休日には、録画しておいたテレビの番組を見たり、家の仕事を手伝ったりしている。エコーの活動や本校の行事にも進んで参加している。

E子（自宅で暮らし、事業所で働いている）

- ・少しくらい体調が悪くても、今日一日仕事を頑張ろうという気持ちがある。帰ってからは、仕事の話を楽しそうにするのが日課である。
- ・友だちと一緒に、休日にはカラオケや買い物等を楽しんでいる。同じ職場の異性とも交際している。

U男（寮で暮らし、福祉工場で働いている）

- ・自信を持って仕事をしているようで、表情にやる気を感じられる。給料をもらうのを楽しみにしていて、魚釣りの用具を買ったり貯蓄をしたりしている。
- ・夕食の時には、友だちや寮母さんとよく話をする。休日には、買い物や魚釣りが楽しみだが、寮の掃除・洗濯・料理の手伝いもする。

V男（自宅で暮らし、事業所で働いている）

- ・細かい粒子を顕微鏡で見ながら作業する仕事を、きちんとなしており、職場の方からも信頼されている。
- ・趣味が多く、休日には、魚釣り・写真・カラオケ等を楽しんでいる。夜、友だちと一緒にスナックへ出かけることもある。誰にでも気軽に話しかける、友だちを増やしている。

F子（自宅で暮らし、授産所で働いている）

- ・仕事場に出かけることが嬉しい様子。職場の方からも、実習で来ていた頃と比べるととても成長しており、社会人としての自覚ができてきたと評価を受けている。木工の仕事で引き出し作りを専門として任されていることに喜びを感じている。
- ・週休2日の今の状態が、本人にとって体調の面からも理想的で、休日には小旅行や親戚の喫茶店の手伝い等の楽しいことが盛り込まれていることが生活の張りになっている。
- ・寝る前にはよく学校のことを思い出すことがあり、学校生活が楽しかった思い出として心に刻まれているようである。
- ・職場でのクラブ活動は、手芸を選び、本校での選択学習で取り組んでいた刺し子や刺繍を続けている。

以上のように、喜びや潤いのある生活をおくる姿が少しずつ浮かび上がってきた。しかし、一方では、職場での人間関係がうまくいかず休みがちだったり、家庭での生活の範囲が限られがちだったりする事例もまだ見受けられた。



生き生きと仕事に取り組むF子

(河田祐子)